

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	環境学習・啓発推進事業			事業番号	27-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	田中 丈司	環境対策課	倉橋 一夫	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち			
		基本政策	8	自然と調和した住みよいまちづくり			
		施策展開の方向	2	みんなの努力で環境にやさしいまちをつくる			
		施策	27	自然共生社会の構築			
予算事業名	環境保全啓発事業費						
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	義務づけ規定がある			
事業開始年度	開始年度	平成22年度	～	終了年度	—		
関連法令等	環境教育等による環境保全の取組の推進に関する法律、伊勢原市環境学習指導員派遣要綱						
国・県の計画等	神奈川県環境基本計画		計画期間	平成28年度～平成37年度			
関連個別計画	第二次伊勢原市環境基本計画		計画期間	平成25年度～平成34年度			
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	平成23年度公布の「環境教育等による環境保全の取組の推進に関する法律」に、地域に関心を持ち、身近な自然や文化に触れることを体験を通じて学んでいくことの重要性が明文化された。市としても国の考えをふまえ、施策を展開することが求められている。						
目的 (何をどうしたいのか)	環境教育・学習や環境に関する啓発活動を通して、伊勢原市環境基本条例に定められた、市民、事業者等の環境配慮の促進を目的とする。						
主な対象 (誰・何を対象に)	市民、小学生、中学生、事業者						
事業内容 (手段、手法など)	・環境学習指導員派遣事業の充実を図り、指導員派遣回数を増やすとともに、環境保全に関する新たな啓発イベントを企画実施します。						
事業行程	項目	年度					
		28年度	29年度				
	環境啓発イベント	イベント実施	イベント実施				
	環境学習指導員派遣	派遣実施	派遣実施				
目 標	【指標名】	【現状】	年度				
			28年度	29年度			
	環境学習参加者数	3,551人	3,600人	3,650人			



事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	環境学習指導員派遣制度における指導員の充実とともに指導内容を精査し、その活躍の場を確保することで、環境に対する一層の普及啓発を図るための環境学習を推進していく。 また、環境イベントについては、集客力があるイベント等と同時に開催し、市民に広く環境保全等の啓発を図る。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	環境啓発イベント	イベント実施(3回)	
	環境学習指導員派遣	派遣実施(9回)	
実施した取組の内容	子ども科学館フェスティバル、小学校等へ環境学習指導員を派遣。市民環境団体との協働による「いせはら環境展」を開催。雨天中止となった「ストップ温暖化展」の代替事業として特別展及び活動発表展を開催。河川クリーン作戦参加者を対象に「子ども向け環境学習会」を実施。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	環境学習参加者数	3,551人	2,125人

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		287	千円				千円		
内訳	国県支出金 ①	0	千円				千円		
	地方債 ②	0	千円				千円		
	その他特財 ③	0	千円				千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	287	千円				0	千円	
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
人件費	正規職員	0.2	人	1,730	千円		人		千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0.2	人	1,730	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)		2,017		千円					千円
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位				
		対象数	101,635	人					
	総事業費／対象数	20	円						

評 価 (Check)

<p>進捗状況 〔選択・記入〕</p>	<p><input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)</p>	<p align="center">B</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>「ストップ温暖化展」が雨天中止になったため、環境学習参加者数は目標を下回る数値となったが、2つの代替事業を開催することにより、概ね計画どおりの進捗になった。</p>
<p>実施水準 〔選択・記入〕</p>	<p><input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業</p>	<p align="center">—</p>	<p>他都市の事業内容等</p>	<p>環境教育等による環境保全の取組については、各市事業展開が異なるため、一律に比較できない。</p>
<p>有効性 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)</p>	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>小学校や子ども科学館等へ環境学習指導員を派遣することで、子どもたちの環境学習への取組を促進した。市民で構成された環境団体との定期的な会合を持ち、積極的な意見交換を行うとともにイベント等を協働で開催することで、市民への環境啓発が図られた。</p>
<p>効率性 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)</p>	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>環境学習指導員派遣について、平成28年度の利用は9回となり、27年度の5回を大きく上回った。小学校や子ども科学館等への指導員派遣により、次世代を担う子どもたちに対して環境学習が実践できた。</p>

↓ 取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)

<p>所属長による今後の方向性の判断</p>	<p>方向性 〔選択〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続</p>	<p>事業推進上の課題</p>	<p>環境学習指導員派遣制度の派遣指導員に偏りが生じているため、指導員の拡充及び提供メニューの精査が必要である。</p>
<p>次年度取組方針</p>		<p>環境学習指導員派遣制度における指導員の拡充とともに指導内容を精査し、活躍の場を確保することで、要望する側に即した指導員の派遣を実施して環境に対する一層の普及啓発を図り、環境学習を推進していく。また、環境イベントについては、国が推進する国民運動「COOL CHOICE」のメリットを広く市民に啓発し、行動につなげることにより、持続的な地球温暖化対策を進め、温室効果ガスの排出削減を図る。</p>		
<p>所管部長による総評</p>		<p>環境の保全、創造に向けた人づくり、地域づくりを目指し、今後も家庭や地域、学校などの様々な場での環境教育や環境イベントを展開し、啓発活動の充実を図っていく。</p>		